



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10 歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004 年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主 催】 (公社) 岩手県サッカー協会
- 【主 管】 (公社) 岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11 地区
- 【運 営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFA キッズリーダー、ご協力いただける父母の方々など
- 【対 象】 少年団・クラブチーム・スクールに所属するキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること
- 【内 容】 2002 年に Jリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け（4～5 人制）して、そのチームでその日限りのリーグ戦（3 試合程度）を戦い抜きます。

- ★ 混成するので団員 1 人での参加も大丈夫
- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★ 4～5 人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



盛岡地区 夏季の部 第1回 (幼児、小1、小2)

- 2015 年 5 月 30 日 (土) 盛岡南公園球技場 【園児・小1】8:30～ 【小2】10:30～
- 参加人数 156 名 (幼児…34 名、小1…42 名、小2…80 名)

- 【参加団体】 仙北、アントス、青山、月が丘、松園、太田東、MIRUMAE、山岸、上田、盛岡中央、グルージャ、イースト、南公園クラブ、Grows、県協会月が丘スクール&エリート盛岡スクール
- 【運営本部】 大久保和志（市協会キッズ委員長、月が丘）、石山信三（市協会キッズ委員、山岸）
吉田隆一（市協会キッズ事務局代行、山岸）、鎌澤和之（県協会キッズ）
- 【学生協力】 岩手大学サッカー部（女子マネージャー細田千遥）
- 【協 賛】 シライシパン（パン・和洋菓子の製造卸売業）

運営責任者コメント

5 月 30 日に晴天の中、今年度 1 回目の「盛岡地区補欠ゼロリーグ」を南公園球技場で開催しました。
当日は気温が 31 度まで上昇するとの天気予報があり、かつ第 1 回目ということでスタッフ全員で熱中症防止に注意しました。試合のない時間帯は軒先に誘導して十分に水分補給をさせるなどして、子供たちは最後まで楽しく試合を行うことができました。
ゲーム終了後「白石パン」のご協力のもと、子供たちはパンをおいしそうにほおばっていました。
この夏季の部は、南公園球技場にて 7 回開催予定です。
これからもっと暑くなりますので、スタッフは子供の体調管理には十分注意し、思いっきり芝を駆け回って汗を流す子供たちを見守っていきたいと思います。たくさんの子供たちの参加を待っています。

大久保 和志（運営本部長、盛岡市サッカー協会 キッズ委員長）





幼児の部

※当日集まった子供たちを所属団体に関係なくシャッフル混成チーム分けして活動します。

◆参加団体（受け入れ団体）： 松園、MIRUMAE、山岸、グルージャ、南公園クラブ、Grows、
県協会月が丘スクール&エリート盛岡スクール

【ウォームアップ： ボールフィーリング、しっぽ取りなど】



【試合のようす】



【集合写真】





小1の部 ※当日集まった子供たちを所属団体に関係なくシャッフル混成チーム分けして活動する。

◆参加団体： アントス、青山、松園、MIRUMAE、山岸、グルージャ、イースト、南公園クラブ、Grows、
県協会月が丘スクール&エリート盛岡スクール

【試合のようす】



【集合写真】





小2の部

夏季・小2の部は、団体 vs 団体の対抗戦（6人制）。各団体は事前に人数を揃えて参加申込する。
6人を揃えられない団体の子も参加可能で、その子たちは当日に合同混成チームとなって試合をする。
大会の「全員が正選手」の趣旨を尊重し交代しながら全員が試合に出られるよう配慮する。

◆チーム参加： 青山、松園、太田東、MIRUMAE、山岸、上田、盛岡中央、グルージャ、イースト、南公園クラブ、Grows

◆合同混成参加： 仙北、月が丘、県協会月が丘スクール&エリート盛岡スクール

【試合のようす】



【集合写真】



県協会のキッズ情報については、

『 公益社団法人岩手県サッカー協会 キッズ委員会 Facebook 』もご覧ください

（編集：県協会キッズ 鎌澤）

